

こどもがしるべき

ローマへの

のそれぞれののは、だいたいいたやける、けるの、によってつけられています。ローマへのは、パウロがローマのにいたです。パウロがこのをいたは、なんでしょうか。

パウロは、ローマにくことをっていました。しかし、ながきて、エルサレムににかなければなりませんでした。ローマにくことができなかったパウロは、ローマをするに、たちのためにあらかじめをいてりました。

なローマには、たちがたてたはありませんでした。それゆえ、にがたくさんじました。

まず、にユダヤとがざっていたので、といにするらかながでした。また、ローマのにつのと、のにするがでした。パウロはでになとをえるをいてったのでした。

ローマへの手のは「」です。すべてのはをれて、とのにられていて、のでわれることはできません。ただイエス・キリストのとをじるときだけ、だとわれ、われることができるのです。

12には、ローマへのをみながら、いはただによってだけけられるというをしましょう。また、そのみにするで、にのいのイエス・キリストと、なのをえるビジョンをましょう。